

# V I E W

No. 99

発行責任者 湊 伸一

発行編集者 教 宣 部

## 「ルールを守れ」とは言うけれど？！ 圧倒的に不足している「作業準備時間」！！

8月1日も総点呼や「関西支社3大テーマ達成の儀式」等でA交検（1本目）の開始が日頃より10分程度遅れました。皆さんご存知のように、一昨年3月のダイヤ改正時から「交番検査周期延伸・新交検」が実施され、交番検査は一本140分で施工しています。11時25分の昼休みまでの午前中に1本交検を施工するのですから、8時55分の始業で9時5分から作業を開始して140分です。しかし8月1日の場合も作業開始の放送ができたのは9時17分頃です。総点呼の所長訓示でも、社員に対して「ルールを守って」というお話がありましたが、会社の「130分交検施工」はルール違反ではないのでしょうか。

時々協力会社のSEK社員の作業が11時5分からの昼休みにくい込んだり、JRの運転台・班長の作業が過去に昼休みにくい込んだことはありましたが、この日も含めて現場社員の「工夫」と「チームワーク」で幸い作業に大きな遅れは発生していません。

総点呼等の「儀式」が何もない通常の日でも、8時55分から庁舎4階で始業点呼と「危険予知トレーニング（KY）」を行い、1階検修庫の現場詰所に移動して作業用のカバンを持ち各担当号車の工具ロッカーに着いて作業開始が9時5分前提なら、10分しか時間はありません。担当号車によっては作業開始の放送までに工具ロッカーにたどり着けない日もあるのに、「当日朝出される指示書」の確認をする時間や、作業前にちょっと水分補給するような余裕もありません。

約2年前の2016年6月に行った「労使協議」の場で関西支社は「（当日朝の作業指示について）班長のしている連絡だけで問題はない」としています。また「130分交検」については、「トータルで時間内に収まっていれば問題ない」としています。

現在「夏季輸送点検」で管理者による「作業点検」もやられています。管理者から「手順が違う」「喚呼の言い方が違う」と言われることもあります。しかし会社の言う理屈で言うと「トータルで検査がしっかりやれていれば作業手順など問題ない」ということではないですか？！社員の皆さんはどう考えますか！